▲株式会社日精ピーアール
(<http://www.nspr.co.jp/>)▲株式会社シンカ
(<http://www.thinca.co.jp/>)▲株式会社新京清堂
(<http://kyoseido.co.jp/>)▲株式会社ミノダ
(<http://www.minoda.co.jp/index.html>)江戸・TOKYO 技とテクノ融合展
～千代田ビジネス大賞受賞企業が複数社出展～

中小企業・小規模事業者の皆さまの事業拡大・発展に貢献するためのビジネスフェア、「江戸・TOKYO 技とテクノの融合展2016」が、10月12日(水)、東京国際フォーラムで開催されました。

第10回目となる今回は、「東京創造力・キラリと光る中小企業」をテーマに、中小企業270社、支援機関13団体が出展しました。

この展示会に、第6回千代田ビジネス大賞で千代田区長賞を受賞した、株式会社ミノダをはじめ、複数の受賞企業が出展しました。

この展示会に、第6回千代田ビジネス大賞で千代田区長賞を受賞した、株式会社ミノダをはじめ、複数の受賞企業が出展しました。

「東京創造力・キラリと光る中小企業」をテーマに、中小企業270社、支援機関13団体が出展しました。

問合せ

産業まちづくりグループ
☎3233-7558

日本最大の「本」の見本市、「東京国際ブックフェア」が、9月23日(金)～9月25日(日)、東京ビッグサイトで開催されました。470社の出展社が100万冊の本を展示販売し、特別価格での販売や、人気作家による無料講演会など、本と出版に関する様々なイベントが行われる展示会です。

この展示会に、第3回千代田ビジネス大賞で千代田区長賞を受賞した、株式会社日精ピーアールが出展しました。

株式会社日精ピーアールは、ミッション(使命)として、環境配慮へ取り組み姿勢をPRしたい企業や商品の再現性を重視する企業に環境対応型印刷(水なし印刷・FSC認証紙・ベジタブルインキ・グリーン電力)と再現性の高い「超・高精細印刷」をワンストップサービス(企画・デザイン・印刷・製本・納品)で提供することを通じて、企業イメージのアップを図ると



▲株式会社日精ピーアール

株式会社日精ピーアールが「東京国際ブックフェア」に出展

共に売上拡大のお手伝いをすることを使命としています。

今回は、ジクレイ印刷による、葛飾北斎や歌川広重の浮世絵等の展示・販売と、オリジナル写真集・作品集の製作のお手伝いを行う「マイ・アートのブック」のサンプル展示を行っています。

「マイ・アートのブック」の紹介映像をブースで流すなど趣向を凝らした展示で、多くの来場者が訪れ、商談にも熱が入っていました。

産業まちづくりグループ
☎3233-7558

中小企業向けビジネス法律相談(無料)
随時受付中!

まちみらい千代田では、千代田区内の中小企業のためのビジネス法律相談を実施しています。予約制となりますので、まずはお電話にてお問合わせください。

実施日時 応相談

(お問い合わせからおおむね1週間前後)

※1回45分

場 所 千代田区神田錦町3-21

ちよだプラットフォームスクウェア

申 込

- ・お電話にて予約状況をご確認ください。
- ・相談内容は、ビジネス法律相談に限りです。

問合せ 産業まちづくりグループ

☎3233-7558

千代田まちづくりサポート通信

市民レベルでがんばっているまちづくり活動を応援する「第16回千代田まちづくりサポート」で助成対象団体に選ばれた各グループのイベント開催予定をお伝えします。

■グリーンネイバーフッド千代田を目指す会
「環境まちづくりダイアログ」

千代田区では常盤橋地区や東京電機大学跡地などにおいて、多くの再開発プロジェクトが計画されています。技術の進歩により、新築ビルのmあたりの環境負荷は低減されていますが、容積率等の緩和により、延床面積が増えれば環境負荷は増えるのではないかと議論があります。そこで、みなさん一人ひとりが都市の再開発という機会に何ができるかを勉強し、議論したいと思います。

◇日時：11月29日(火) 18:30～20:30(予定)

◇場所：エコピープル支援協議会(千代田区平河町1-3-7アルタ平河町ビル2F)

◇参加費：1,000円(税込)※軽食、ドリンク付き ◇定員：15～20名

◇申込み：WEBサイトから

(http://www.eco-people.jp/bin/cms/see_more.cgi?d=2&c=78)

◇締切り：11月25日(金)12:00まで※締切り後の申込みはoffice@ep-support.jpへ

◇問合せ：090-9642-9147もしくは infognc@goo.jpまで(担当：林昌明)

■PCN 秋葉原 Assemblage

電気街発。千代田区を電子工作で盛り上げよう！プロジェクト

みんなで作るクリスマスイルミネーション「アキハバラ キラキラ化計画」

クリスマスといえば夜に瞬くきれいなイルミネーション。電子工作とプログラミングであなただけのイルミネーションを制作し、クリスマスシーズンの秋葉原電気街に飾りませんか？

はんだづけやプログラミングが初めての方、大歓迎です。

◇日時：11月23日(木・祝日)12月10日(土)11日(日)

13:00～17:00(12:45集合)

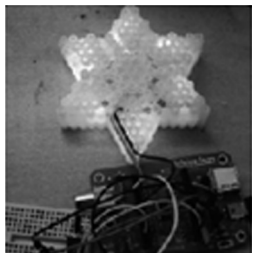
◇場所：JR秋葉原電気街改札外みどりの窓口前(集合場所)

◇参加費：1,500円(税込)※材料代

◇対象：小学生から(小学生参加の場合は、必ず保護者の同伴をお願いします)

◇申込み・問合せ：メールで受付(info@assemblage.tokyo)担当：榎野、木下

◇注意事項：本ワークショップで制作したイルミネーションは12月25日まで電気街の装飾として使用されます。作品のお持ち帰りは12月28日以降となります。



■問合せ まちづくり推進担当 ☎3233-7558

連載 がんばる中小企業応援レコラム テーマ 「企業の「経営資源力」を高めよう」

第11回 カネ「中小企業の補助金活用の進め方と付き合い方」

～理解すると武器になる補助金制度～

中小企業診断士

金網 潤

補助金制度は、税金の再分配の仕組みです。それ故、行政(例：国、東京都、千代田区等)が政策目標の実現のために実施するもので、個々の事業者支援のために実施するものではないことを先ずご理解下さい。行政サイドが各々の政策目標の達成のために、その課題解決に向けて、税金を使って事業者の事業活動を促進しようとする狙いがあります。従って、事業活動の方向性が合致する目的の補助金制度を活用しないと意味のないこととなります。政策目標とは例えば省エネ促進、海外

展開の促進等、様々です。従って事業者の皆様には、各々の目的にあった事業を、広くあるいは的確に取り組んでもらうことがとても重要になります。また補助金制度と似たニュアンスで使われる言葉で「助成金制度」という言葉があります。しかしながらこの2つは財源こそ、同じ「税金」ですが、性質は全く違います。共通点は、実施主体や、お金の返済義務や支給時期の内容ですが、違いは、該当要件や会計検査院の検査の有無等の違いがあります。

補助金制度で大切なことは

まずは個々の事業者が自社の事業計画をしっかりと立てた上、その計画目標達成のための具体的課題を、体系化することが大切です。「初めに補助金ありき」ではなく、個々の事業者の事業目標達成の手段として、他の手段(融資等)をも視野に入れながら、補助金制度を検討してみた上で、その手段が有効なのか？を考えてみるのが重要になります。従って中小企業事業者が補助金制度と付き合うためには、自社の経営課題を客観的に分析して適切な課題を見出しながら、どんな補助金制

